

令和4年度（上期）  
指定管理施設管理運営状況報告書

施設担当課：教育委員会事務局 生涯学習 部 図書館

1. 基本情報

1501

施設名	伊丹市立図書館南分館		
施設の設定目的	図書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、保存して、市民の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資する。		
伊丹市総合計画（第6次）における関連施策	政策大綱：育ち・学び・共生社会 施策：生涯学習・スポーツ 主要施策：図書館サービスの充実		
指定管理者の名称	公益財団法人いたみ文化・スポーツ財団 (団体の住所又は所在地) 伊丹市宮ノ前1丁目1番3号		
選定方法（公募・非公募）及び指定期間	非公募	平成 31 年 4 月 1 日 ~ 令和 6 年 3 月 31 日	
管理運営上の目標 (管理運営の指定管理者の具体的目標)	指標名	来館者数・貸出冊数 (単位： 人・冊 )	
	指標の意味	年間の来館者数・延べ貸出冊数	
	今年度の目標値	14.5万人/35万冊	上期の実績値 65,651人/167,952冊

2. 利用状況

利用状況等の推移		H17※	H30	R元	R2	R3	R4 (上期)	R4 (通期)
	来館者数 (人)		153,179	148,260	137,199	7,622	114,991	65,651
講座開催回数(回)		36	136	118	2	125	41	-
講座参加者数(人)		1,071	2,219	1,451	185	1,099	601	-
貸出冊数		259,651	374,423	352,655	41,293	319,905	167,952	-

※H17年度は、指定管理者制度未導入。

3. 経費情報

<単位:千円>

		令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022) 計画	令和4年度 (2022) 実績 (上期)		
指定管理者の収支	収入	使用料収入	0	0	0	0	
		事業収入	0	0	0	0	
		その他	616	75	19	3	
		指定管理委託料	34,464	35,508	34,667	16,664	
		①合計	35,080	35,583	34,686	16,667	
	支出	維持管理	光熱水費	0	0	0	0
			清掃等委託料	0	0	0	0
			土地建物賃料	0	0	0	0
			修繕料	249	0	25	0
		運営	人件費	32,112	34,268	33,104	13,716
事業等経費			1,445	1,604	1,557	556	
その他			0	0	0	0	
指定管理納付金	0	0	0	0			
②合計	33,806	35,872	34,686	14,272			
純収支 (①-②)		1,274	△ 289	0	2,395		

		H29	H30	R元	R2	R3	R4 (上期)
施設の管理運営に係る実質経費 (市の負担) ※ <単位:千円>	市の収入	0	0	0	0	0	0
	(内、使用料収入)	0	0	0	0	0	0
	市の支出	39,669	40,154	41,188	41,464	41,108	20,032
	(内、指定管理委託料)	32,669	33,154	34,188	34,464	35,508	16,664
	実質経費 (歳出-歳入)	39,669	40,154	41,188	41,464	41,108	20,032

※施設建設等に係る市債償還などの経費は、支出に含んでいません。

#### 4. 業務評価

評価項目	(具体的内容)	評価結果				
		指定管理者自己評価		施設担当課評価		
		評価	特記事項	評価	担当課所見	
管理体制等に関する事項	維持管理業務の実施状況	館内の清掃を定期的実施し、常に清潔に保たれているか。	A	利用者の安全性と利便性、快適性などを考慮し、ラスタホールとも連携しながら対応している。大規模改修により更新された設備や内装を持続的に清潔に保てるよう維持管理に努め、初期不良などについても随時対応している。	A	施設管理について十分に配慮し、利用者が快適に利用できるよう心掛けている。
		保守点検等は、協定書・仕様書に基づき適切に実施しているか。	B		B	
		備品等は、台帳を整備し適切に管理しているか。	B		B	
		修繕業務は、市と適宜協議しながら適切に実施しているか。	B		B	
		環境に配慮した施設運営に取り組んでいるか。	B		B	
	職員配置などの実施体制	館長等、必要な職員の配置をおこなっているか。	B	図書館運営に必要な資格と経験、実績を積んだ職員を配置し、研修にも積極的に参加している。防火管理についても資格取得職員およびラスタホールとも連携し行っている。	B	仕様書に基づき、職員を適切に配置している。
		職員研修は、計画どおり実施しているか。	B	B		
		防火管理者等、管理にあたって必要な資格を持った職員を適正に配置しているか。	B	B		
	防犯・防災対策への取組状況	緊急時の連絡体制は整っているか。	B	財団全体の連絡網を整備し、ラスタホール全館で連携して定期的に避難訓練を行っている。	B	仕様書に基づき適切に連絡体制を整えている。
		避難訓練を実施しているか。	B	B		
運営等に関する項目	サービス向上への取組状況等	サービス向上や利用者増へ向けた取り組みを行っているか。	A	市内各施設と連携を深めた展示や事業を実施し、施設利用の相互交流が促進された。ブログによる情報発信、書籍案内の積極的配布などサービス向上に努めている。利用者からのご意見ご要望については関係部局と協議連携し迅速に対応している。	A	魅力ある展示や書籍案内の積極的な配布など、多様な利用者ニーズに対応できるよう努めている。
		利用者の意見を施設運営に反映する仕組みを確立しているか。	B	B		
		苦情・トラブルに対し、適切・迅速に対応しているか。	B	B		
		特定利用者を優遇したり、理由もなく利用を制限している事例はないか。	B	B		
	事業等の実施状況	指定管理者として実施すべき事業は、計画どおり実施しているか。	B	ボランティアや他施設と連携しながら、臨機応変に新たな事業を展開している。	B	ラスタホールや他施設等と積極的な事業連携を行い、利用者の増加に取り組んでいる。
		施設の設定目的を達成するための効果的な事業展開がなされているか。	B	B		
	個人情報保護・情報公開への取り組み	各種申請書類等は、適切に保管しているか。	B	伊丹市立図書館セキュリティ運用基準を遵守、ブログによるイベント情報発信などを積極的に行っている。	B	仕様書に基づき適正に業務を実施している。
		利用者情報などの電子データの取扱は、適切に行っているか。	B		B	
		ホームページの作成や広報紙等を活用した情報提供を積極的に行っているか。	B		B	
	収支の状況	収支計画に基づき、適正に運営しているか。	B	予算の範囲内で適正に行っている。	B	適正に経理処理を行っている。
経理処理は、適切に行っているか。		B	B			

「評価」欄の記号の意味

「A」＝協定書・仕様書等の水準を上回っている。

「B」＝協定書・仕様書等の水準を満たしている。

「C」＝協定書・仕様書等の水準を満たしておらず改善を要する。

「-」＝当該項目での評価対象外。

<b>施設所管課総評</b>	ラスタホール等と積極的に事業連携し、利用者数、貸出冊数の増加につながっていることが認められる。引き続き、質の高い図書館サービスを期待したい。
<b>総合評価</b>	<b>B</b>

「総合評価」欄の記号の意味

「AA」＝非常に良好である又は非常に成果があった。

「A」＝良好である又は成果があった。

「B」＝取組状況の水準が普通である。

「C」＝改善すべき点が見受けられ、改善を要する。

#### ☆利用者満足度調査(アンケート)結果と対応【実施期間】令和4年 9月 1日～令和4年 9月 30日

実施の有無	主な回答	主な対応
有り	利用されての満足度について →大変満足(37%)、満足(63%)	新鮮で充実した図書資料、丁寧な接遇、時節やニーズに合わせた展示や事業などを心掛け、今後も利用者の更なる満足度の向上、親しみやすい図書館を目指してまいります。
回答者数	職員の接遇態度について →たいへん良い(48%)、良い(49%)	
102	清掃が行き届いているかについて →はい(100%)、いいえ(0%)	

#### 5. 改善指摘事項等

市からの指摘事項	指摘事項に対してとられた措置